



岩宿・日光方面への修学旅行

校長 宮崎美代子

校舎の窓から茅ヶ崎公園を眺めると、木々の新芽が初々しく感じられ、清々しい気持ちになります。新学期が始まって、早ひと月、4月5日に入学した1年生も元気に登校しています。給食スタート時の2週間、保護者の方にお手伝いをいただきました。おかげさまで、おぼつかないながらも懸命にご飯やおかずをよそい、上手に配膳することができました。ありがとうございました。

今年度から配膳中は、全員が給食帽子とマスクを着用しています。どの学年も静かに落ち着いて配膳できる効果的な取組となっていますので、今後ともご協力をお願いいたします。

さて、6年生は4月24日～26日に岩宿・日光方面への修学旅行に行っていました。進級してすぐの修学旅行となるため、5年生のうちからしおりの作成等準備を進めてきました。「れ(歴史を感じ)き(協力して)し(しっかり学ぼう)」というスローガンのもと、日本の歴史や文化、自然に親しむとともに友達や先生との人間関係も深めるよい機会になったのではないかと思います。

1日目は、足尾銅山と富弘美術館を見学しました。銅親水公園の桜が満開で子どもたちを歓迎してくれているように感じました。2日目は、華厳の滝と東照宮を見学しました。途中、わずかに雪の残る男体山の山頂までくっきりと見る事ができました。東照宮では陽明門の改修が終了し、さらに美しくなった姿に感銘を覚えました。子どもたちは、天井から響いてくる「鳴き龍」の音色に聞き耳を立てていました。3日目は、岩宿博物館で石器づくりや弓矢、やり投げ、火おこし体験等を行いました。硬いシカの角で、慎重に少しずつ黒曜石を削って、矢じりの形に仕上げていきました。子どもたちは、大昔の人々がいろんな知恵をもっていたことに思いをはせる事ができたのではないかと思います。

この修学旅行で、感心したことがいくつかありますが、中でも①「ありがとう」と言える子どもたちがたくさんいたこと ②どんな時も全員がきれいに靴をそろえていたこと ③その気になると団結して、どんどん仕事を進める事ができたこと、この3点は、6年生の特長であり、これからも伸ばして欲しい強みだと確信しました。

これから5月8日に1年生の遠足(東方公園)、5月15日に2年生の遠足(野毛山動物園)、5月25日に3年生の遠足(こどもの国)、5月17日～18日に4年生の宿泊体験学習(愛川)、6月21日～22日に5年生の宿泊体験学習(西湖)と各学年の校外学習が続きます。これらは学校を離れ、自然や文化を直接体験して見分を広めるといだけでなく、集団行動や公共のマナーを身につけるということもねらいとしています。学校から、一歩外に出たらだれもが茅ヶ崎小学校の「顔」であり「代表」として見られます。いつ、だれに見られても本校の児童として、恥ずかしくないように振る舞ってほしいと思います。そして、友達、先生、現地の方とたくさん触れ合い、素敵な思い出がたくさんできるように願っています。